

第6号様式（第14条関係）

2014年 4月 8日

新宿区長 あて

法人名 (特) あそびと文化のNPO
新宿子ども劇場
所在地 新宿区北山伏町2-17
ゆったり～の共同事務所
(フリガナ) ノリマツ ヨシミ
代表者氏名 理事長 乗松 好美 ㊞

協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第14条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 500,000 円

1 助成対象事業

事業名	文化で地域づくり アートの花を（新宿フィールドミュージアム 2014）	
事業種別	既存事業	新規事業
申請する助成の種類	NPO活動資金助成	新事業立上げ助成
過去に本助成を受けた実績	助成年度（23）事業名（「ダルレのはなし」楽しみたい・学びたい・触れたい韓国） 助成年度（25）事業名（文化で地域づくり アートの花（新宿フィールドミュージアム 2013）） 助成年度（ ）事業名（ ）	
この事業に対し他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 無	有の場合は助成団体及び助成額 団体名： 助成額： 円
事業実施地域及び会場	新宿区内 5 か所の区内公共施設または民間施設ホールおよび集会所 (淀橋・落合・大久保・牛込・四谷)	
スケジュール (実施期間等)	2014 年 3 月 16 日（土）地域実行委員会準備会（淀橋）実施 3 月 19 日（水）地域実行委員会準備会（大久保）実施 3 月 27 日（木）地域実行委員会準備会（落合・牛込・四谷）実施 4 月～5 月 第 1 回地域実行委員会 区内 5 か所 以下のスケジュールより助成対象事業として実施 6 月～8 月 第 2 回地域実行委員会 区内 5 か所 9 月 全体委員会実施 9 月・10 月 ワークショップ 区内 3 か所 ★「詠み語り講座」（場所：西新宿シニア活動館 予定） ★「詠み語り講座」（場所：西新宿小学校図書室 予定） ★ 音楽&おはなしワークショップ（場所：四谷地域センター予定） 10 月～12 月 観劇会 区内 5 か所（淀橋・落合・大久保・牛込・四谷） ★杉原徹「おはなしポロロン 徹の部屋 2」淀橋 11 月 9 日（日）（場所：エコギャラリー新宿 予定） ★太鼓ユニットは・や・と 大久保 11 月 23 日（日）（場所：新宿区立新宿NPO協働推進センター 予定） ★音楽コンサート 落合（場所：聖母ホームまたは落合第一地域センターホール） 四谷 ★観劇 牛込 11 月～2015 年 1 月 第 3 回地域実行委員会 区内 5 か所 まとめ	

<p>区民ニーズの把握状況 (それは、どのように把握したかを含む。)</p>	<p>文化は、地域の人と人をつなげる最も有効な手法の一つであるとの認識に立ち、一過性ではなく今後も継続していく人間関係と地域意識の構築を目指し、ひいては文化による街づくりになりうる。</p> <p>さまざまな人や団体が一緒に取り組むことで新宿の街を身近に意識し文化振興条例でいう「私たち区民」で取り組む文化芸術創造の理念の重要な視点になりうる。</p> <p>平成22年度から実施している乳幼児文化体験事業での参加者へのアンケートから、①観劇や文化体験事業への参加要求の高さ②乳幼児親子の歩いていけるアクセスの良さ③観劇は視線の合う平土間設定等が参加しやすい条件という分析を得る。</p> <p>1つの場所に大型の作品設定するのではなく、私たちの得意とする地域コミュニティに丁寧に働きかけるコミュニティアートと子どもたちの生活する地域での観劇会を設定した「来て見て楽しい新宿フィールドミュージアム 2011・2012」(文化月間) <①文化芸術振興のネットワークの構築②文化芸術による新宿の街の魅力の創出③文化芸術と私たち区民による取組が大事であるという3つのテーマを集約して始まった>では、平成23年度11月には、地域での観劇会では、3地域でスタッフ26人、268人参加。24年度11月には、5地域で6回の観劇会でスタッフ55人、583人参加した。</p> <p>25年度のNPO活動助成金で「フィールドミュージアム2013」区内5か所(淀橋・落合・大久保・牛込・四谷地域)でワークショップ・公演に述べ835人(区内在住者95%)の方が参加した。アンケートでも(回収率15%)98%がとても満足(5段階評価中)との回答を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目の前でマジックが見られてとても驚きました。子どもが「来てよかった」とキラキラ目を輝かせていました。 ・不思議なマジックを間近で観賞で来て、子供たちもとても喜んでいました。ありがとうございました。 ・大変おもしろかったです。次回もよろしく、また参加したいと思います。(66歳) ・いろいろなマジックやわざをおしえてもらって満足。(小4、9歳) ・とても楽しかったです。近所で公演していただけるのは、本当に助かります。また是非来たいです。(9才の母) <p>継続に向けての地域のニーズも高い。対象を考えた作品設定や会場設定と運営面に対しての信頼も高く、主体的に自分たち地域の子どもたちへ向けてと活動するスタッフも参加しやすさから創出できた。地域貢献も考慮した通常の観劇価格より価格設定を低くし特に子どもや親子の参加をしやすいように経営努力を図っている。</p> <p>子どもたちの置かれている経済格差の広がり大きく(2012年新宿区における教育扶助自給率18%)、お金がかかる事で参加を躊躇する方もあり、全ての子どもたちが参加できる環境づくりが求められている。</p>
<p>事業の対象者</p>	<p>新宿区及び近隣地域の乳幼児から大人</p>

<p style="text-align: center;">活動内容</p> <p>※必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等を添付し、又は印刷物等の資料を提出していただいても結構です。</p>	<p>2014年</p> <p>3月 地域実行委員会準備会 区内5か所 目的、対象、などコンセプト（地域において、地域の大人が子どもたちへ劇をプレゼントする）を確認し、地域実行委員会を組織する。運営については各地域の実情に合わせる。</p> <p>・4月～5月 第1回地域実行委員会 具体的な演目設定と、日程、会場などを確認し、チラシや協力体制をどのようにつけるか、当日までのスケジュールリングを行う</p> <p>(1) 6月～8月 第2回地域実行委員会 進捗状況を確認、チケットチラシを持って広報活動（寄附や協力体制への周知）。どのような取り組みができるか協議。ワークショップについての広報、当日運営確認。</p> <p>(2) 全体委員会 各地域実行委員会の状況を共有し、新宿全体としての事業をつかむ。</p> <p>(3) 9月～10月 ワークショップ 区内3か所 【参加費無料】</p> <p>① 「詠み語り講座」（場所：西新宿シニア活動館 予定） 講師：杉原徹 日時：未定 場所：西新宿シニア活動館 予定 対象：シニア活動館に来館の方 内容：絵本の詠み語りと音楽の融合</p> <p>② 「詠み語り講座」（場所：西新宿小学校図書室 予定） 講師：杉原徹 日時：未定 場所：西新宿小学校図書室 予定 対象：近隣小学校の小学生親子 内容：絵本の詠み語りと音楽の融合</p> <p>① ②については、地域を巻き込み多世代で本公演を迎えるため、動員力の弱い地域をより活性化させるために集中的にアウトリーチワークショップを行う。</p> <p>③ 音楽&おはなしワークショップ 日時：10月中旬土曜日午後 場所：四谷・または落合地域センター多目的ホール 対象：3歳以上親子15組 内容：音楽とお話のワークショップ</p> <p>(4) 10～11月 観劇会 区内5か所（淀橋・落合・大久保・牛込・四谷）【参加費：子どもは無料・大人1000円】</p> <p>① 淀橋地域公演 演目：杉原徹「おはなしポロロン 徹の部屋2」 日時：11月9日 日曜日 午後 対象：幼児から大人 定員70名 場所：エコギャラリー新宿 展示ホール 内容：昨年も行い好評だったため区内保育士「すばなしの会」によるすばなしの発表と「コクの微糖 WANDA」ナレーションでおなじ</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

みの杉原 徹との映像と音を使ったコラボレーションの第二弾です。地域の子どもからお年寄りまで三世代が楽しめる演目です。



② 大久保地域公演

演目：太鼓ユニットは・や・と

日時：11月23日 日曜日 時間未定

対象：乳幼児から大人 定員 264名

場所：新宿区立新宿NPO協働推進センター2階多目的室 予定

内容：平成24年度から教育指導要領の改定で小中学校での和楽器の体験の推奨などされましたが子どもたちが実際にプロによる演奏をきく機会は増えてはいないことから、ぜひ実現させたい。昨年度オープンした新宿区立新宿NPO協働推進センターを利用して地域の方々に足を運んでいただくことで知名度アップに貢献する。近隣の日本児童教育専門学校専門学校生や新宿区青年会議所など多くの方にご協力を得られるようぜひ実現させていきたい。また、音が出ることでの配慮として近隣町会へのあいさつや周辺住民へのご招待などを検討する。



③ 落合地域公演

演目：未定

	<p>日時：未定 対象：乳幼児から大人 定員 150 名 場所：聖母ホームまたは落合第一地域センターホール 内容：昨年より聖母ホームとの共催し、子どもから施設に入居するお年寄りが楽しい空間が実現したので今年度もぜひ継続して実現したい。ただしお葬式とインフルエンザなどで、キャンセルになる可能性がある。周囲を中野・練馬・豊島区をはさんでいるが、とても子どもの多い地域でもあり乳幼児から小学生向けの作品に対しての要求が高い。</p> <p>④ 四谷地域公演 演目：未定 日時：未定 対象：乳幼児から大人 定員 150 名 場所：四谷地域センターホール 予定 内容：落合地域と同内容で同作品を取り組むことでコストを下げ、よりたくさんの方と共有できる</p> <p>⑤ 牛込地域公演 演目：未定 日時：未定 対象：3 歳以上 定員 100 名 場所：牛込笹笥地域センター 5 階ホール又は、榎町地域センターホール 内容：文教地域でもある牛込地域では、子どもたちから大人まで楽しめる内容を企画予定。昨年は、すぐにチケット完売になってしまったことから場所やニーズの高さを考慮中。</p> <p>(5) 11 月～2015 年 1 月 第 3 回地域実行委員会 区内 5 か所 まとめ 地域公演のまとめ成果と課題抽出。次年度への検討</p>
<p>地域の人たちの事業 へのかかわり方 (ボランティアとして参加する等、どのように地域の人がこの事業に参画することができるかを記入してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの講座に参加する事が出来る。 ・子どもの生活する地域を中心に捉えどのような大人とつながり、子どもたちが将来にわたり地域で幸せに生活していけるかを念頭にそれぞれの地域課題を検討しながら商店街、町会、PTA、スクールコーディネーター、民生児童委員、青少年育成委員、学校や専門学校、社会福祉協議会、地域で活動するNPOなど一連の事業への協力を求めることを通して、文化活動への理解を深め、共感する人たちを増やす。 ・淀橋・落合・大久保・牛込・四谷地域をはじめ、区内各地から告知協力やスタッフとしての参加を募り、事業への参画をはかる。 ・地域の大人が子どもたちへ舞台をプレゼントすることをコンセプトに周知していただくためのリーフレットを作成し、子どもたちの負担のないために寄付者を募る。

<p>実行体制</p> <p>(必要とされる人員とその確保のめど、必要な設備等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各 5 地域の実行委員会は、新宿子ども劇場の理事が中心となり、会員を含む地域の有志と組織する。実行委員会は地域課題を明確にし、地域の実情にあった企画運営をする。各実行委員会は子ども劇場の理事が責任を持って運営する。 ・アウトリーチワークショップ、地域を活性化するための実行委員会間の調整を子ども劇場が実施する。 ・新宿子ども劇場でも事業予算を計上し、経費の面での補てんをする。 ・各地域の進捗状況は新宿子ども劇場の理事会が常に把握し、それぞれの実行委員会の状況も共有する。 ・事業に関わる設備は、新宿子ども劇場の備品を活用する。
<p>期待される成果</p>	<p>区民や地域にもたらす具体的効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人が子どもたちへ舞台をプレゼントすることをコンセプトに、子どもたちは無料で文化体験をする事が出来る。 ・子どもたちがさまざまな交流の中で文化に触れて行くことから人と人とのコミュニケーション力を高めて行くことを実感する。異年齢のなかでの鑑賞を通して、子どもたちの心の中にさまざまな人が地域にいることを感じてもらう。 ・地域の子どもが、文化活動を通じて地域への愛着を深めていくことを理解し、子どもたちに文化活動が必要であるという地域の大人を増やし、さまざまな文化の違いを理解しながら安心して生活できる街づくりを作ってゆく。継続的に行う文化的手法が、地域のコミュニティづくりには有効であるということを立証し、実感を得ていく。 ・「来て見て楽しい新宿フィールドミュージアム 2014」(文化月間)すべての事業を登録することでより広く告知をし、誰もが参加しやすくアクセスしやすい環境にする。 ・特に、30～40代の子どもを今育てている世代が、「私にもできる」身近な取り組みを実感し、事業を行った達成感から次への意欲の創出となり新しい地域を考えていく市民を育てていく。
	<p>申請事業を実施することによる貴団体の活動への効果</p> <p>地域が地域の持つ人的、物、アイデアを生かして子どもの生活圏で文化活動を創り出し、積み重ねて行くことで、子どもが育つ文化豊かな地域と人と人とのつながりが作られて行くことを願う。</p> <p>子どもたちが地域での文化活動の体験を通じ、共有・共感の中で、人と人のつながりを実感することは、とても大切であると感じているが、「子どもたちにもっと文化を！」と思うより多くの人の輪を広げ、文化体験の場をより多く創り出して行くこのような事業は私たちの原動力となる。</p> <p>継続して団体に責任を持ち地域を学びながら人と出会い地域の課題を明解にし、まだ見ぬたくさんの子どもたちに文化体験を届ける企画していくことは私たちの活動の中心である。</p> <p>他と協働し、さまざまな顔の見える地域の大人や団体が一緒に取り組み、さまざまな人たちが当事者として事業に向けて汗を流し携わることで地域を深く知り、新宿の街をより身近に意識する機会となる。</p>

<p>貴団体の経営基盤強化 に向けた取り組みと 今後の展望</p>	<p>私たちのミッションは、「すべての子どもに文化権を！」（子どもの権利条約 31 条の休息余暇あそび芸術文化への参加）と子どもたちがより多くの文化芸術活動にアクセスでき、そのために当法人内外に文化芸術活動を企画する人、大切に思う人を増やすことが必要である。子どもたちには文化が必要であると共有できる環境・地域にする。そのために私たちは、区内で文化芸術活動を企画する、実施する、発信する。そのための人材を育成する。</p> <p>具体的には、自分の見えている子どもの姿や地域の状況の中で何が今必要かを考え、さらに地域では、区内ではと企画実践していく。文化活動を通しての市民への啓蒙活動と人々の芸術文化に対しての社会貢献の意欲の高まりをうまく手をつなぎあわせ、子ども・地域・文化を切り口に行政や企業に対して政策提言や協働のあり方を模索していく。</p> <p>現実問題として子どもたちに文化活動を気楽にできる環境にはなく、そこには保護者の経済問題や考え方で大きく二極化してきている。私たちは、子どもゆめ基金などの助成金を利用したり、平成 23 年度から 3 年間文化庁の次代を担う文化芸術体験事業などで区内小中学校の事業に文化体験のワークショップを提案したり地域の子どもの文化活動の体験のすそ野を広げる努力をしてきた。</p> <p>今回のように、地域の大人が子どもたちへ舞台をプレゼントすることをコンセプトに区民の方から子どもたちへというお金を出して頂くことが定着して毎年一回でも地域で劇などが観られる文化豊かな地域になるコーディネートする中心になって発信する団体でありたい。</p> <p>自らの使命のもとに、社会の課題に挑み、広く市民の参加を得て、課題の解決に向けて成果を出している。そのために必要な、責任ある活動母体として一定の組織的安定性と刷新性を維持した公益団体となり寄附する方々にとっても控除となり、子どもたちへ生きたお金に還元できる団体になるべく活動する。</p>
-------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 助成対象事業費内訳（積算根拠）

※協働推進基金助成金は、助成申請額を入れて積算して下さい。

※入場料又は会費を徴収して行うイベント、公演等は、必ず単価を入れてください。

(G)

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額	
		団体負担金			500,000 円
		参加費・資料代等	公演チケット 1000 円×200 名（5 か所合計）		200,000 円
		その他の収入	寄付金 一口 1000 円×168 口		168,000 円
		協働推進基金助成金	助成希望額		500,000 円
		計			1,368,000 円
支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳	費 目	予算額	内 訳		
	会議費	125,000 円	実行委員会会場費@2000×5 か所×3 回=30000 円 ワークショップ会場費@5000×3 か所=15000 円 公演会場費@15000×5=75000 円 資料コピー代 1000×5 か所=5000 円		
	宣伝費	54,000 円	公演チラシ@2×5000×5 か所=50000 円 ポスター（カラーコピー）@80×50=4000 円		
	リース費	0 円			
	消耗品費	48,500 円	封筒@2×2000=4000 円 ファイル@100×50=5000 円 チケット 3000 円×5 か所=15000 円 ガムテープ・養生テープ@400×15=6000 円 ブルーシート 4000 円 プリンターインク@5000×2=10000 円 ワークショップチラシ用紙@1500×3=4500 円		
	謝礼	693,000 円	ワークショップ@30,000×3 か所=90000 円 スタッフ@3000×2 名×3 か所=18000 円 公演@30,000×3 名×5 か所=450000 円 スタッフ@3000×5 名×5 か所=75000 円 実行委員会@2000×2 名×5 か所×3 回=60000 円		
	人件費	63,000 円	ワークショップ @3000×2 名×3 か所=18000 円 公演@3000×3 名×5 か所=45000 円		
	材料費	9,000 円	ワークショップ材料@3000×3 か所=9000 円		
	交通費	36,000 円	ワークショップ講師@2000×3 か所=6000 円 公演@2000×3 名×5 か所=30000 円		
	その他諸経費	27,000 円	送料@90×300 通=27000 円		
助成対象事業費（小計）		1,055,500 円			
助成対象外事業費		312,500 円	公演謝礼差額 250,000 円 出演者食事@1000×2 名×5 か所=10000 円 駐車場@2000×5 か所=10000 円 会議お茶@1000×3 回×5 か所=15000 円 プレゼント@1500×5 か所=7500 円 期間外実行委員会部屋代@2000×5 か所×2=20000 円		
事業総額			1,368,000 円		

3 その他

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、助成対象事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

助成対象経費

下記項目以外の経費（飲食費等）は、対象といたしません。

項目	経費の種類
①会議費	打合せ、会議資料コピー代、会場使用料等
②宣伝費	チラシ、ポスター等作成費
③リース費	事業に直接必要な機器の賃借料
④消耗品費	事務用品の購入費
⑤謝礼	講師、協力団体等への謝礼（1時間当たり1万円を限度とし、1日当たり3万円を限度とする。）
⑥人件費	事業実施に直接関る事業主体の人件費として時間単価1,000円、1日あたり1人4,000円を上限として、かつ助成対象事業費の20%以内
⑦材料費	事業に直接必要な材料の購入費
⑧交通費	公共交通機関の交通費、講師との事前打合せのための交通費等（タクシー代は除く。）
⑨その他諸経費	損害保険料、郵送料等（チャリティ募金、寄附金等は除く。）